



シリーズ

荒尾の宝 万田坑を世界遺産へ！

明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域

第4回 鹿児島エリア

生涯学習課世界遺産推進室
☎ 63-1681



アヘン戦争（1840～42年）後、いち早く欧米列強の脅威を察し、対抗策を講じたのが、島津斉彬を藩主とする薩摩藩でした。旧集成館は反射炉・高炉による鉄製大砲製造、洋式艦船の製造、製鉄、紡績、ガラス製造や活版印刷などからなる斉彬が作った産業の拠点です。日本の近代工場発祥の地であり、日本の近代化に大きく貢献しました。反射炉建設には斉彬たちが蘭書から得た西洋技術の情報を基に、地元の石積み技術を使って炉の基礎を築くなど、西洋と日本の技術が融合されています。集成館事業には大量の燃料や動力が必要でした。そこで、火力の強い白炭を製造するため、寺山炭窯跡が造られました。また、高炉などの動力には当時研究段階だった蒸気機関の代わりに水車動力が用いられました。斉彬は集成館に隣接する仙巖園（島津家別邸）に水を供給していた下田町関吉の吉野疎水から新たな水路を引き、集成館の水車に水を供給しました。

集成館は薩英戦争（1863年）で焼失しますが、薩摩藩はすぐに再建に着手し、洋式の機械工場を建設しました。集成館では洋式機械による金属加工、造船・蒸気機関の修理・部品加工が行われました。現存する日本の洋式工場の建物としては最も古いものです。

旧鹿児島紡績所技師館は、日本初の洋式紡績工場である鹿児島紡績所で技術指導した7人の英国技師の宿舎として建てられ、幕末期の建築洋風化の進展を示すものとして貴重な建物です。

万田坑世界遺産推薦記念冠事業

申請受付中！
詳しくは市HPへ

☎ 秘書広報課広報広聴係
☎ 63-1157

第4回

万田坑スケッチ大会

市内の小学生を対象に世界遺産登録を目指す万田坑でスケッチ大会を開催します。

思い思いの万田坑を画用紙いっぱい書いてください！



【期日】 9月13日(土)
【場所】 万田坑
☎ 荒尾青年会議所 内野
☎ 66-0420

創作ステージ・ふるさと詩集 VOL.6

「万田坑そびえる街」

～ふるさとの礎をみる～

万田坑を見つめ直し、ふるさとへの誇りと自信を深めてみませんか。映像、バレエ、朗読、演劇、歌などを組み合わせた楽しい構成になっています。ぜひお越しください。



【期日】 9月21日(日)
【場所】 文化センター
☎ 文化センター
☎ 66-4111

第9回 音と光の祭典

in 宮崎兄弟生家

竹灯籠の明りの下、郷土の偉人 宮崎兄弟をしのび、交流しませんか。上小路子ども神楽などのステージイベント、野点（お茶会）や滔天マルシェも同時開催します。



【期日】 9月27日(土)
【場所】 宮崎兄弟の生家
☎ 一小校区元気づくり委員会
平野 ☎ 090-2503-5987

シリーズ

しあわせ 実感 まちづくり 2

このコーナーでは、各地区で緑の下の力持ちとして頑張っている人にスポットを当て、ご紹介します。

第3回



③万田中央地区の取り組み

万田中央地区は、旧三小グラウンドの美しい桜や万田坑と三池港を結ぶ炭坑電車の線路跡があり、万田山をシンボルに地区住民のつながりが深い地区です。年間を通して、住民福祉の向上のための取り組みを行っています。中でも万田山ハイキングは、地域資源を活用した取り組みとして、多くの参加者にぎわいます。

幅広い世代でつながりを深められるように

万田中央地区協議会副会長 田頭スエカさん

万田中央は地域で触れ合う機会が多く、住民同士のつながりも深い地区です。毎回、地区行事は幅広い世代でにぎわっています。しかし、一度も参加したことのない人もいると思うので、気軽に来てもらえるように声掛けに力を入れていきたいです。

今後は街の環境美化にも取り組み、明るいまちづくりを行っていきます。

旧万田山いきいき町づくり会など地域のお手伝いをしてきたことがきっかけで、地区協議会の副会長を務めています。

私にできることは限られていますが、地域の活動を通して、いろいろなことにチャレンジできるのが一番幸せです。地区行事に参加した人から「楽しかった」という声を聞くと、とてもうれしく思います。



Sueka Tagashira 田頭スエカ

たがしら・すえか 昭和25年生まれ、原区在住。三小花の会の会長、荒尾市食生活改善推進員協議会会員を務める。趣味はガーデニングと料理。

万田中央地区協議会事務局長 栗原和則さん

どこで会ってもあいさつを交わせる関係に

旧万田山いきいき町づくり会の発足時から地区活動に携わってきました。協議会では元気づくりから引き続き、事務局長を務めています。地区の活動の中で、さまざまな人の考えを知ることができ、いい刺激になっています。

万田中央は地区でのまとまりは強いのですが、地域のお世話係である役員の顔を知らない人も見受けられます。そこで、このふれあい夏祭り大会では、役員の紹介を開会式に盛り込みました。役員の顔を覚えてもらい、気軽に地区行事に参加してもらえたらと思います。私も行事に参加してくれた人の顔を覚えて、どこかで会ったときにあいさつを交わせるよう、きっかけづくりを大切にしていきます。そういう関係で地域の皆さんとよりよい関係を築いていきたいです。



Kurihara Kazunori 栗原和則

くりはら・かずのり 昭和37年生まれ、万田中区在住。12年間に渡るPTA活動が評価され、今年度、荒尾市教育委員会表彰を受賞。趣味は魚釣り。



1. 平成23年に開校した三小のグラウンドの桜。ことしもきれいな花を咲かせました。2. グラウンドゴルフ大会。毎回、多くの人が参加し、盛り上がりがあります。3. 第3回ふれあい夏祭り。老若男女で総踊りを楽しみました。